



HUG体験ファシリテーター養成講座の様子

ラー」の建屋と大樽を活用し
テイディングルームも新設
されると聞いている。歴史を
生かしながらの相乗効果に期
待している。

◆防災教育

問 地域の防災教育の現状は。

答 各種防災訓練のほか、公
民館や社協の地区分会主催の
講座に市や県の職員が講師と
なり、耐震を含めた地震への
備え、ハザードマップ活用な
どで講話等を実施。避難所運
営ゲームHUG（ハグ）での
模擬体験講座も行っている。
問 女性の視点を生かした備
品や避難所での対応など事前
準備に活用してはどうか。
答 災害時に女性の視点が生
かせるよう研究していく。

清風クラブ
質問者
中野 重則
西條 富雄・平間 正治
持ち時間100分

市の防災対策や北部地
域拠点施設整備事業の
進捗状況等について

◆防災アセスメント調査結果
の対応策は

問 災害発生時に必要となる
飲料水や食料の備蓄は。

答 災害発生直後は、市内16
カ所に設置する防災倉庫に備
蓄しているアルファ米と飲料
水のペットボトルを使用する。
◆行政区名と異なる大字名と
の統一は

問 多くの大字名が混在する
原新田区は統一できないか。

答 大字名の統一は、以前、
研究・検討した住居表示を導
入することが効率的と考える。
しかし、道路などで囲まれ
た街区をひとつの区域とする
ため、現状と一致しないこと
もあり、今後関係住民を交え、
研究したい。

◆北部地域拠点施設整備の進
捗状況は
問 施設整備に関し、設計で

配慮した点は何か。

答 人と人がつながる施設に
加え、駅前の立地条件を生か
した回遊、交流、賑わいの拠
点として、世代を超えた出会
いや交流が生まれる施設にな
るよう設計を進めている。構
造材、内装材は、いずれも県
産材を使用し、特に子育て支
援施設は、木育や木に触れら
れる環境を提供していく。

問 施設オープンまでの具体
的スケジュールはどうか。

答 施設拡張部分の用地買収
は、平成30年3月末に終了し、
施設建設は平成31年春のオー
プンを目指し進めていく。
◆信州まともと空港の活性化
に向けて

問 空港の活性化・国際化に
向けた広域の作業チームの検
討内容は。

答 国内路線の拡充等3作業
チームは、チームの方策実現
に向け、これまでの活動を振
り返り、平成33年度までの工
程表を作成中である。

◆第36回全国都市緑化信州フ
エリアに向けた市の実施計画
と準備態勢は

問 市独自で実施するイベン
トはあるか。

答 市が主体となって、企画
運営を行うサテライト会場は

緑化・木育に関連したイベン
トを行い、信州フェア全体の
盛り上げにつなげていく。

問 アルウインの張替芝再利
用の計画は。

答 関係各所に情報提供を行
った結果、12月初旬に片丘小
学校で芝の張り付け作業を行
った。

◆環境振興に向けた施策の推
進は

問 ワインバスの運行実績と
利用者の評価は。

答 9月に実施した桔梗ヶ原
ワインバスは、10日間で503名
の利用者があり、また、11月
に、高速バスみどり湖パーキ
ングを起点として実施した広
域周遊バスは、2日間で60名
の利用をいただいた。両事業
の評価は、ほぼ全員の方から
満足との回答をいただいた。



北部地域拠点施設建設予定地の旧広丘支所